

## 刊行にあたって

日野市立日野図書館では、平成 18(2006)年 6 月、地域の皆さまに役立つ図書館をめざし、地元の皆さまや商店会ならびに日野の歴史と民俗の会の皆さまとともに、「日野宿発見隊」というゆるやかな組織体を立ち上げました。そのなかで話し合いを重ね、同年夏の「日野宿こども発見隊」を皮切りに、歴史、文化、自然などさまざまな角度から、日野宿を再発見する事業に取り組んできました。

今年度は、まず、第 107 弾として「スタンプラリー in 日野宿 2023」を 5 月 13 日(土)に開催しました。予報どおりあいにくの空模様でしたが、277 名(スタンプ帳頒布数)の参加がありました。続いて 6 月 3 日(土)に NPO 法人ひの市民活動ネットワーク/日野市ボランティア・センターの共催の「まち活 2023」(イオンモール多摩平の森)で日野宿発見隊の日頃の活動を紹介しました。ここでもスタンプラリーで活躍の大型スタンプが好評でした。

夏休みをまちかにした 7 月 13 日(木)には、日野第一中学校の生徒有志と日野宿発見隊メンバーによる学校周辺の用水路清掃を行いました。また同月 22 日(土)には、新東光寺地区センター前の用水で恒例の「夏休み!親子で調べよう日野用水」(第 108 弾)を開催しました。両者とも日野のお宝「日野用水」をいつまでも大切にしてほしいとの願いが込められた大事な事業です。

また秋には、いつもとは少し異なる形とはなりましたが宮神輿の渡御が再開されるなか、八坂神社の玉垣などで「八坂の祭り写真展」(第 109 弾)を 9 月いっぱい開催させていただきました。

続いて 11 月 8 日(水)に、日野宿発見隊内の勉強会として、日野図書館前の甲州街道の下ノ宿尻(宿場の東端)から北に歩いて日野の渡しまでのおおよそ 700m の短い距離を 3 時間かけてじっくりと探索しました。また同月、昭和 30 年前後から 40 年前後の日野宿を撮った東尚士さんの映像 22 点をホームページにアップできたのも今年度の収穫でした。

さらに年末には、第 20 回子ども発見隊「行灯をつくろう」(第 110 弾)を開催し、コロナ禍から抜け出しつつある 1 年を締めくくりました。

そんななか年が明けて早々発生した能登地震は悲しい年の始まりとなりました。犠牲になられた皆さまのご冥福をお祈りするとともに一日も早い復興を願うばかりです。

3 月 14 日(木)には、「多摩地域の住宅史 歴史的建造物を通して学び、味わう講座」と題し、一級建築士・酒井哲さんを講師にお招きし、住まいの住宅史という観点から「日野宿本陣」について学ぶ講座を開きました。また同月末には有志の皆さまのご支援ご協力を得て「日野用水」とも深く関わりのある「お茶屋の松」の解説板を設置できました。

なお、7 月 2 日(日)に日野宿発見隊初代事務局長として活躍された渡邊生子さんが急逝されました。心より哀悼の意を表します。

日野宿発見隊事務局

日野市立日野図書館